

【北海道新聞に掲載されました】

9月11日（火）、韓国・素明女子高等学校へ交換留学した訪問団が羽幌町長を表敬訪問し、生徒一人ひとりから交流した内容について報告しました。駒井久晃町長より、「留学した経験を基に、また次に繋げてほしい」とお言葉をいただきました。

このような貴重な機会を提供してくださった、羽幌国際交流協会の皆様、そして交換留学実施に際しご支援ご協力してくださった羽幌町長をはじめ多くの皆様に感謝申しあげます。

韓国に短期留学「人々の温かさ感じた」

【羽幌】韓国ソウル郊外にある富川市の素明女子高に短期留学した羽幌高の生徒8人が11日、町役場を訪れ、駒井久晃町長に帰国報告した。2年の池田亜里沙さん（16）は「言葉や文化だけでなく人々の温かさを感じることができた。1年の木村日和さん（16）は「学んだことを進学や就職に生かしたい」と話した。

羽幌国際交流協会が主催し、8月28日から9月3日まで現地でホームステイしながら、授業に参加したり羽幌の郷土芸能を披露したりした。生徒は帰国後もLINE（ライン）などの通信アプリを使って交流を続けているという。

同行した宮下裕加校長は「さまざまな支援に感謝したい。生徒は成長して帰ってきた。いつか羽幌に恩返しをしてくれると思う」と話した。駒井町長は「皆さんは海外で早稲を広めてきた。この経験を生かして頑張ってほしい」と激励した。（長谷川寛）

韓国短期留学の帰国報告を行う羽幌高の生徒たち

